

児童生徒アンケートに見る児童生徒の姿と小中一貫教育

- 1 2021年度実施 「かながわ学びづくり事前アンケート」結果より（推進計画 P.12 参照）
実施学年 小学校5年生、6年生、中学1年生、2年生、3年生

分析（教育委員会・推進計画 P.12 より）

- 「将来の夢や目標を持っている」とする児童生徒は、学年が進むにつれて減少していく傾向がみられる。特に中学校2・3年生の減少傾向は顕著である。
- 「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童生徒は、学年を問わず女子の方が多くいる。中学校1年生をピークにして減少傾向がみられる。
- 「自分には良いところがある」と思う児童生徒は、各学年とも男子のほうが多くいる。また、「分からない」とする児童生徒が各学年・男女とも多くいる。
- 「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」とする女子児童生徒は学年が進むにつれて少なくなる傾向がみられる。
- 授業などで「分からないときに『分からない』『教えて』と恥ずかしがらずに言える」のは、各学年とも男子のほうと言える傾向がみられる。

- 2 2022年度実施「小中一貫教育児童生徒向けアンケート」結果より
実施学年 小学校5年生、6年生、中学1年生

分析（教育委員会,原）

- ①小学校5,6年生アンケート結果からは、
- 中学校に入学する時に楽しみにしていることは小学校にない部活動を第1位に挙げている。第2位は同学年の生徒との関わり、第3位が体育祭や文化祭などの行事と続く。その他、制服があること、教科担任制、定期テストなど小学校生活との違いに期待感を持っていることが読み取れた。
- 中学校に入学する時に不安に感じていることは定期テストを第1位に挙げている。第2位は上級生との関わり、第3位は中学校での授業と続く。部活動や制服への不安も挙げられている。
- 中学校に進学するまでにどのようなことに取り組みたら、心配や不安を解消できると思いますか、という問いには第1位に部活動見学、第2位が部活動体験、第3位が中学校の授業を見る、第4位が中学生とふれあう機会、と続き、入学前の直接的な見聞や体験を望んでいることが読

み取れた。

②中学校1年生アンケート結果からは、

○中学校に進学するまでに心配を少しでも和らげるために取り組めたらよいこととして、第1位に部活動見学、第2位に部活動体験、第3位に授業を見る、第4位に中学校生活の1日の様子を知る、第5位に中学生とふれあう機会と続き、やはり直接的な見聞や体験の必要性が読み取れた。

○また、中学校生活や勉強を進める上で、小学校の時にできるようになっていたら良いと思うこととしては、学習面の達成を挙げる回答が一番多く、続いて「挨拶」や「敬語」など社会性の成長に関わる回答が続く。

学習面では国語の漢字、算数の四則計算の理解など、すべての教科での小学校での学習内容の定着を挙げる生徒が多く「もっとやっておくべきだった」と回答している。こうした回答を見る限り、学習の理解が中学校生活の質を左右するポイントの一つであることが理解できる。

分析まとめ (原)

質問項目が限られているため、安易な結論は避けるべきだが、義務教育9年間というスパンで児童生徒の傾向(変化)を見ると、二つのアンケートのうち、「かながわ学びづくり事前アンケート」結果からは義務教育が進んでいくにつれて「夢や希望」が抱きにくくなっている、授業の理解度が学年を追うごとに低くなっている、中学校3年生で約20%が授業が分からなくなっている、学年を追うごとに難しいことに挑戦しようとする意欲が減少傾向を見せていることが課題として浮かび上がってくる。

一方で、学級みんなで決めたことなどに協力して取り組む姿勢や自分の意見を発表する際に工夫することは学年を追うごとに上昇傾向にあること、人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒は学年が進んでもほぼ同数であるなどは日頃の教育活動の成果と捉えることができる。

「小中一貫教育児童生徒向けアンケート」は小中一貫教育に特化した質問項目で、アンケート結果からは中学校入学前から中学校の教育や課外活動、学校生活に一定の予備知識や経験を持つことで中学校との段差を小さくできる、中1ギャップの緩和に両者の交流が有効であることが推測できる。

また、学年を追うごとに中学校の学習の理解度が低くなっていることは、「1」のアンケートに見られる課題の要因の一つとしてとらえることができ、学習についていけなくなっていくことで自信をなくしていく中学生の姿が推測される。

学習面での自己評価は自尊感情や自己有用感とも大きく関わる。小学校の学習内容の未定着部分をできる限り小さくし、生徒が中学校の学習を理解できるようにするために、9年間のカリキュラム構成や教材提示の工夫でいつでも学び直しができる教育課程編成が望まれる。